

令和7年度

スポーツキャリアサポート支援事業
スポーツキャリアサポートコンソーシアムの運営
(別冊・出張研修報告)

令和8年3月

株式会社エイジェック

目次

石川ミリオンスタース（日本海リーグ）	1
富山サンダーバーズ（日本海リーグ）	1
日本水泳連盟	4
関東学園大学	7
静岡県（日本大学三島高等学校）	10
桜美林大学（バレー部）	13
コットンウェイ硬式野球倶楽部	16
全日本アーチェリー連盟	19
株式会社 MPandC	22
パナソニックコネクト（女子陸上競技部）	25
日本大学（野球部）	28
レジックススポーツ	31
日本パラカヌー連盟	35
国士舘大学（野球部）	38
アップルスポーツカレッジ	41
大阪体育大学浪商高等学校	44
新関東大学準硬式野球連盟	47
大阪体育大学	50
日本体操協会	54
姫路獨協大学（野球部）	57
日本アスリート支援協会（相撲部屋）	60
日本セパタクロー協会	63
日本フェンシング協会	66
松本大学（野球部）	69

日本海リーグ（野球）

実施先	日本海リーグからの希望により研修実施。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 石川ミリオンスタース ■ 富山サンダーバーズ
実施日程	日本海リーグのスポンサー企業の企業説明会後に実施。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 石川ミリオンスタース：2025年9月11日（木）14:10～15:40 ■ 富山サンダーバーズ：2025年9月12日（金）15:50～17:20
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ■ 石川ミリオンスタース：33名 ■ 富山サンダーバーズ：31名
メイン講師	小川 聡志 氏
サブ講師 (ワークサポート)	及川 奈穂美 氏

➤ 研修概要

団体の実施目的

スポンサー企業の支援があるからこそ競技ができているという意識を選手たち自身に持ってもらうとともに、独立リーグというプロの厳しい世界で活躍する選手たちに、キャリアについて考えることは競技力向上にも繋がっていること、選手一人ひとりが競技経験を将来にどうつなげるかを具体的に考えるきっかけの場にしたい。

実施内容

① 講師による講義	アスリートがこれまでに経験してきた「気づき」「失敗」「挑戦」が社会において通用する独自の強みであることを強調し伝えた。 また、小川講師自身の社会経験や、他競技の元アスリートの事例を交えながら講義を行い、選手が自身の競技経験を客観的に捉え、競技とキャリアの関連性・相乗効果をより深く理解する機会を提供した。
② 自己理解ワーク	「社会人基礎力チェックシート」を用い、自身の強みや課題を可視化する機会を提供。これにより、「チームで目標を達成する力」や「困難に向き合う忍耐力」など、日頃の練習や試合を通じて無意識に培ってきた能力を、社会で求められる力として認識するきっかけとなった。
③ ロードマップ作成	選手一人ひとりが「ロードマップ」を作成するワークを実施。競技引退後の5年、10年といった具体的な期間内にて達成したい目標を言語化・可視化し、選手たち自身が今後、選手として、人としてどう行動していくかを整理する時間となった。

II. 委託業務に係る成果報告

研修の様子

<石川ミリオンスターズ>



<富山サンダーバズ>

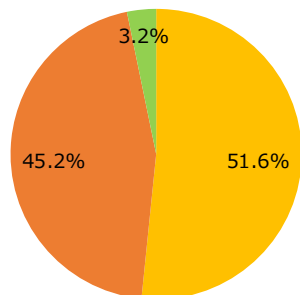


II. 委託業務に係る成果報告

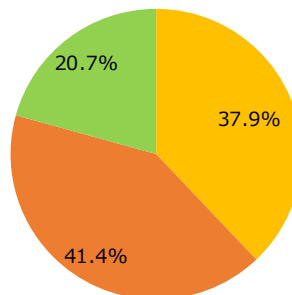
➤ アンケート結果

Q. 今日の研修は役に立ちましたか？

石川ミリオンスターズ (31名)



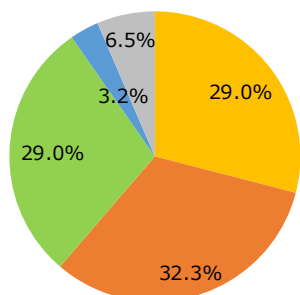
富山サンダーバーズ (29名)



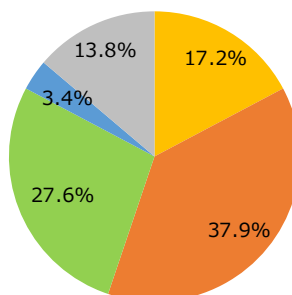
■ とても役に立った ■ 役に立った ■ どちらともいえない ■ あまり役に立たなかった ■ まったく役に立たなかった

Q. 今後、キャリアについてもっと知りたいと思うことはなんですか？

石川ミリオンスターズ (31名)



富山サンダーバーズ (29名)



■ 資格取得について ■ 就職活動の方法 ■ 競技経験を社会で活かす方法 ■ デュアルキャリアの実例 ■ なし

Q. 研修を受けて、具体的に「やってみよう」と思った取り組みはありますか？（自由記述）

- 目標を言語化して整理するためにノートを書く事にしようと思いました。
- 自分ばかりで決断しなければならないと思っていたが、人の意見も聞いたり、色々な世界を見てみようと思った。

Q. キャリアに関して、チーム等に「やってほしい」と思うサポートはありますか？（自由記述）

- いろんな方々の体験談を聞きたい。
- スポーツ業界、企業の説明会を受けてみたい。

Q. 本日の研修で印象に残った研修項目や感想を自由にご記入ください（自由記述）

- ロードマップを作成することで、自分のやりたいことが明確になった。
- グループワークで今までは知ることのなかったチームメイトの一面を知れたこと。

日本水泳連盟（水泳）

実施日程	前年度も研修実施について相談をしていたが、団体内での調整もあり見送り。 本年度、日本水泳連盟からの希望により、インターナショナル合宿の一環として研修を実施。 2025年11月11日（火）15:30～18:00
参加者数	42名（中学生:4名／高校生:21名／大学生:12名／社会人:5名）
メイン講師	川島 隆一 氏
サブ講師 （ワークサポート）	田島 寧子 氏 浅山 千恵 氏 及川 奈穂美 氏

➤ 研修概要

団体の実施目的

トップ選手が集うインターナショナル合宿は、メダル獲得や競技力向上を目的とした非常に貴重な時間である。本研修を、合宿という競技者が最も集中し成長できる環境で実施し、キャリア形成と向き合うことは競技力向上にも繋がり、競技に向き合うことで人としても成長するというデュアルキャリアの考え方を理解してもらうことで、将来に向けより大きく成長してもらうことが目的である。

また、競技引退までに何を経験し、何を準備しておくかと将来の役に立つのか、選手だけでなく指導者においても十分に理解が進んでいないことも課題の一つである。

合宿には幅広い年代が参加しているため、各年代が抱える課題の共有や意見交換を行うとともに、社会人選手から学生世代へ経験を伝える等、世代を超えた学びと気づきを促す場にしたい。

実施内容

① 講師による講義	「競技力向上とキャリア形成は深く関係していること」を中心に据え、競技者としてだけでなく、一人の人間として自分らしく、納得できる人生を実現するために必要なことを選手たちに知ってもらうこと、そして競技と並行してキャリアについても些細なことでも行動を起こしていくことの重要性を伝えた。
② 自己理解ワーク	選手たちが「社会人基礎力チェックシート」を用い、自身の強みや課題を可視化する機会を提供。また、このワークをきっかけに自分の強みや弱みについて改めて振り返ることができ、より、競技における力と人としての人生の関連性を意識づける時間となった。
③ ロードマップ作成	「実現したい自分の理想の姿」を考えるグループワークを実施。選手一人ひとりが競技者としてだけでなく、一人の人間としてのビジョンを考え目標を定めた上で、その目標の実現に向け、今後どのような行動を起こしていくかを明確にし、皆で共有し合う時間となった。

II. 委託業務に係る成果報告

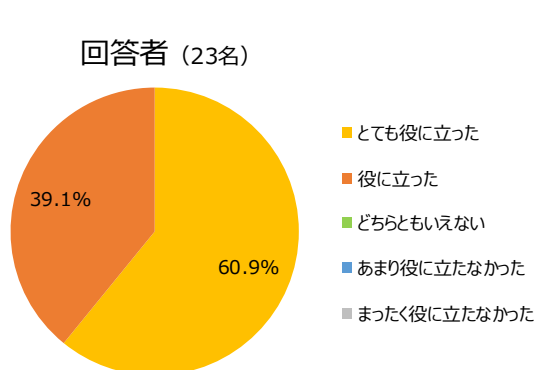
研修の様子



II. 委託業務に係る成果報告

➤ アンケート結果

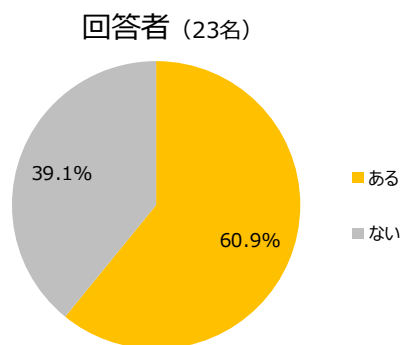
Q. 今日の研修は役に立ちましたか？（5段階評価＋自由記述）



<回答した理由>

- ① とても役に立った
 - 就活をしている最中で、迷って、悩んでいたから、今の自分にはぴったりの内容だと感じました。
- ② 役に立った
 - 多くのキャリアセミナーは競技に関する職業に就くことを勧めるものが多くて嫌悪感があったが、全く関係ない職業も含めて肯定的だったのが良かった。

Q. 研修を受けて、具体的に「やってみよう」と思った取り組みはありますか？（5段階評価＋自由記述）



<「ある」と回答した理由>

- ACCの利用について検討をしたいと考えました。
- 興味のある業種・仕事についている人にその仕事について聞いてみる。
- 自分の競技を応援してくれる（具体的にはスポンサーなどのような）方々を創出できるような機会を自分から作る、自分の外国語でのコミュニケーション能力を上げる。

Q. 今後、キャリアについてもっと知りたいと思うことはなんですか？（自由記述）

- 就職活動にて、競技で培ってきた力・魅力をどのようにして伝えると良いのかについて。
- 引退後、別の分野の仕事に就いた人の話を聞きたい。現役中にどのような準備をしていたかなど。
- 競技経験を社会で活かす方法

Q. キャリアに関して、チーム等に「やってほしい」と思うサポートはありますか？（自由記述）

- 就職活動のための時間確保
- 社会人で競技を続けていた方は、どのような覚悟を持って競技を続けたのかについて知りたいです。
- 個別に相談に行くのはハードルが高いので、今回のように合宿中にやってもらえると助かる。

Q. 本日の研修で印象に残った研修項目や感想を自由にご記入ください（自由記述）

- グループでの話し合いが、それぞれの違いがあっっておもしろかった。年代別での班分けだったので、既に相手のことを知った上で話せたので話が早くて良かった。

関東学園大学（野球）

実施日程	再委託先・エイジェックススポーツマネジメントと連携し実施決定。 練習後に時間を設け実施。 2025年12月8日（月）17:00～19:00
参加者数	関東学園大学の野球部を対象に実施。 53名
メイン講師	小川 聡志 氏
サブ講師 （ワークサポート）	提箸 宏 氏

➤ 研修概要

団体の実施目的

将来のキャリアについて、選手自身に考えていってもらうためのきっかけとして研修を実施。選手としても、人としても成長していくデュアルキャリアの考え方を意識してもらうことで、今後の練習や学業、生活に活かせる学びを得てもらうことを目的とした。また、仲間との意見交換や対話を通じて新たな気づきや考え方の幅を広げ、選手一人ひとりが自分自身の成長や将来に主体的に向き合う場とする。

実施内容

① 講師による講義	競技を通じて身につく社会人基礎力について解説し、その力を競技以外で活かすこと、また競技以外での経験を競技で活かすことの大切さを伝え、「競技力向上とキャリア形成は密接に繋がっていること」を中心に、キャリア形成に関する講義と参加者同士でのグループワークを交えた研修を実施した。
② 自己理解ワーク	「社会人基礎力チェックシート」を用い、自身の強みや課題を可視化する機会を提供。これにより、「チームで目標を達成する力」や「困難に向き合う忍耐力」など、日頃の練習や試合を通じて無意識に培ってきた能力を、社会で求められる力として認識するきっかけとなった。
③ ロードマップ作成	選手一人ひとりが「ロードマップ」を作成するワークを実施。競技・競技以外の両面で目標を立て、そこへ向けて今から1年後、2年後、選手たち自身が今後、選手として、人としてどう行動していくかを整理する時間となった。

II. 委託業務に係る成果報告

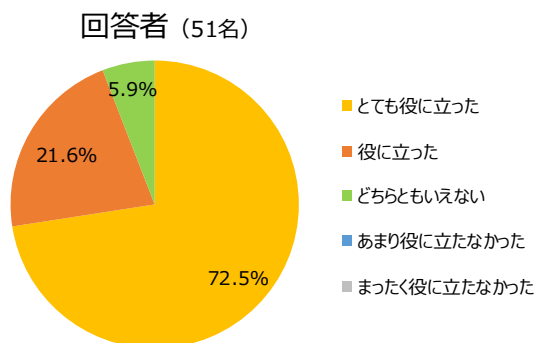
研修の様子



II. 委託業務に係る成果報告

➤ アンケート結果

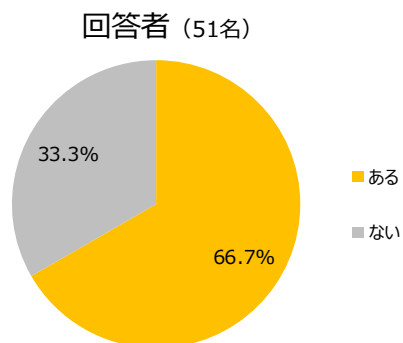
Q. 今日の研修は役に立ちましたか？（5段階評価＋自由記述）



<回答した理由>

- ① とても役に立った
 - 競技と競技外は別で考えていたが、お互いを同じく高める新たな考えを知ることができた。また、自分のことについて考える良い機会になった。
- ② 役に立った
 - 将来のことをあまり考えずに過ごして来たが、この講義で考えるきっかけを貰ったから。

Q. 研修を受けて、具体的に「やってみよう」と思った取り組みはありますか？（5段階評価＋自由記述）



<「ある」と回答した理由>

- 野球以外でのグループ活動をもっと積極的に自分から行う。
- 他業種の方10人とキャリアについて話す。
- 日記などを書いてみてその日の気づきなどをまとめて生活に生かしていきたい。
- 興味が無いことでもやり方を調べ、見つけ、能力や技術の向上を目指したい。

Q. 今後、キャリアについてもっと知りたいと思うことはなんですか？（自由記述）

- 競技経験を社会で活かす方法。
- どんな資格を取得した方が将来に役立つのか、野球経験をどんな職業に活かせるのかを知りたい。
- デュアルキャリアの実例。

Q. キャリアに関して、チーム等に「やってほしい」と思うサポートはありますか？（自由記述）

- 無料のトレーナーのサポート。
- 就職活動のための時間確保。
- どのインターンに行けばいいのか。

Q. 本日の研修で印象に残った研修項目や感想を自由にご記入ください（自由記述）

- 今回の研修を聞き、野球のことはもちろんですがこれからの就活にも繋がるようなワークシートをしてとても勉強になりました。
- まずは社会人基礎力を身につけ、デュアル成長ができるように日常生活の取り組みを見直して改善していこうと思いました！

日大三島高等学校（競技混同）

実施日程	授業の1コマの時間を使い、実施。 2025年12月11日（木）10:00～11:00 また県独自で2回目の研修を実施。
参加者数	61名
メイン講師	川島 隆一 氏

▶ 研修概要

団体の実施目的

静岡県として、スポーツの成長産業化を推進しスポーツを通じた地域の活性化を図っていく方針を掲げており、その中でも、アスリートが競技引退後も静岡県の各地域にとどまり、競技活動を通じて培われた経験や能力を、社会の中で発揮できるよう育成していくことが重要な課題の一つとなっている。

本研修を通じて、アスリート本人のキャリアに対する意識改革を図るとともに、デュアルキャリアの考え方の理解を深める機会とする。

アスリートが競技引退後も自身の能力を社会で最大限発揮できるよう支援し、将来的には県のスポーツの成長産業化を支える人材の育成に繋げていくことを目的とする。

実施内容

① 講師による講義	「デュアルキャリア」をテーマに、競技を通じて人として成長し、その成長を競技に繋げていくことで、単なる両立ではなく相乗効果を生み出していけることを伝えた。また、そのためにも、先生や監督から指示されたことをそのまま実行するだけでなく、自分で考え、行動することが競技力アップのために不可欠であることを伝えた。
② 自己理解ワーク	競技や授業の場面を振り返り、自分の強みを考える機会とし、その強みが伸びた経験や、これから伸ばしたい力についても考え、自己理解が進んだ時間となった。 また、引退後の将来の職業について、様々な職業例にも触れてもらった。
③ ロードマップ作成	「実現したい自分の理想の姿」を考えるグループワークを実施。選手一人ひとりが競技者としてだけでなく、一人の人間としてのビジョンを考え目標を定めた上で、その目標の実現に向け、今後どのような行動を起こしていくかを明確にし、皆で共有し合う時間となった。

II. 委託業務に係る成果報告

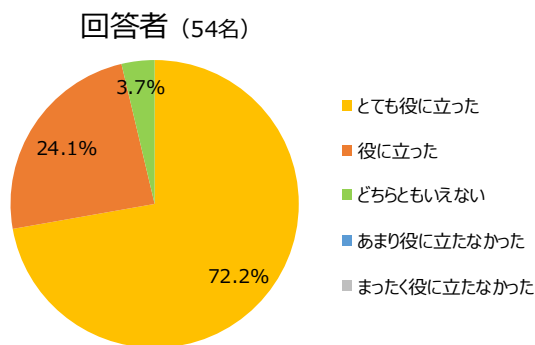
研修の様子



II. 委託業務に係る成果報告

➤ アンケート結果

Q. 今日の研修は役に立ちましたか？（5段階評価＋自由記述）

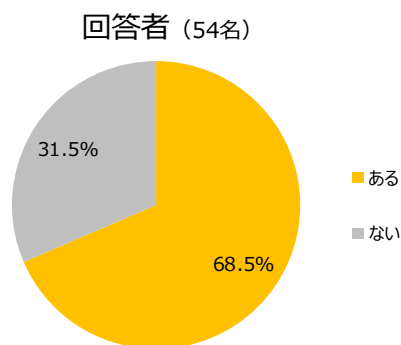


<回答した理由>

- ① とても役に立った
 - 今自分はテニスの選手として技術力、メンタルしか考えてこなかったのですが、人としての成長で相乗効果が生まれるということから、引退してからの将来について考えるなど、今まで考えてきたことと全く別の観点について考える有意義な時間になった。
- ② 役に立った
 - 卒部後や卒業後の進路について真剣に考えられたり、思いついたことがあった。

Q. 研修を受けて、具体的に「やってみよう」と思った取り組みはありますか？

（5段階評価＋自由記述）



<「ある」と回答した理由>

- 話し合いなどでもっと周りの人の意見を聞き、全員が納得する話し合いを心がける。
- 地域のボランティア活動に参加する。
- 男女問わず積極的に話す。
- 逆算して考えていくこと、もっと広い視点で物事を考えていくこと。

Q. 今後、キャリアについてもっと知りたいと思うことはなんですか？（自由記述）

- 引退したアスリートが引退後どんなことをしているのか。
- 新しく何かを始める時に最初に何を考えるべきか知りたい。

Q. キャリアに関して、チーム等に「やってほしい」と思うサポートはありますか？（自由記述）

- いろんなことに挑戦できる環境づくり。
- ケアの知識などを共有して怪我をしないチームになりたい。
- 自分という人間の性質を知るために、相談や対話をしたい。

Q. 本日の研修で印象に残った研修項目や感想を自由にご記入ください（自由記述）

- 自分の強みと弱みを明確にすることで、何が足りないのか見えてきて、それを身につけられるようにしたいと思った。自分は、計画性がなくて、何事もギリギリになってしまうため、自分のこの先のことも身近なことにも、計画性を持って取り組むことが大切だと思った。今日の講習の話を思い出しながら、わすれずに取り組んでいきたい。

桜美林大学 (バレー)

実施日程	再委託先・エイジェックススポーツマネジメントと連携し実施決定。 年末のバレー部のミーティング前に実施。 2025年12月17日(水) 16:00~18:00
参加者数	桜美林大学のバレー部を対象に実施。 25名
メイン講師	川島 隆一 氏

➤ 研修概要

団体の実施目的

大学アスリートの多くは競技活動を中心とした学生生活を送っており、将来のキャリアについて考える機会が少ない。こうした状況を踏まえ、現役選手の段階から自身の将来やキャリアについて考えるきっかけを提供することを目的として本研修を実施した。

本研修では、競技活動を通じて培ってきた経験や強みを振り返るとともに、それらが社会の中でどのように活かされるのかを考える機会を設けることで、キャリア形成に対する意識の向上を目的とする。

実施内容

① 講師による講義	「デュアルキャリア」をテーマに、競技を通して人として成長していること、また、人としての成長も競技力向上に繋がっていることを伝え、キャリアについて考えることの重要性を知ってもらう機会とした。 また、競技でさらに高いレベルを目指すためには、自分で考え、工夫し、仲間と協力し合うことが不可欠であることを伝えた。
② 自己理解ワーク	「社会人基礎力チェックシート」を用い、自身の強みや課題を可視化する機会を提供。これにより、「チームで目標を達成する力」や「困難に向き合う忍耐力」など、日頃の練習や試合を通じて無意識に培ってきた能力を、社会で求められる力として認識するきっかけとなった。 また、引退後の将来の職業について、様々な職業例にも触れてもらった。
③ ロードマップ作成	選手一人ひとりが「ロードマップ」を作成するワークを実施。競技・競技以外の両面で目標を立て、そこへ向けて今から1年後、2年後、選手たち自身が今後、選手として、人としてどう行動していくかを整理する時間となった。

II. 委託業務に係る成果報告

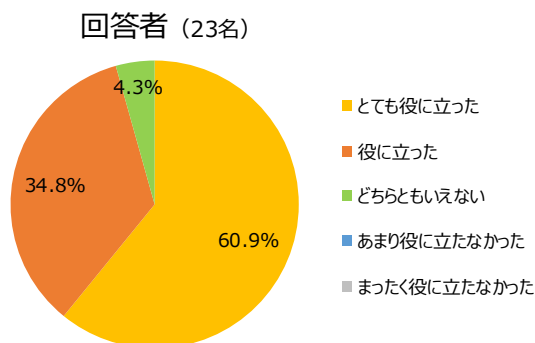
研修の様子



II. 委託業務に係る成果報告

➤ アンケート結果

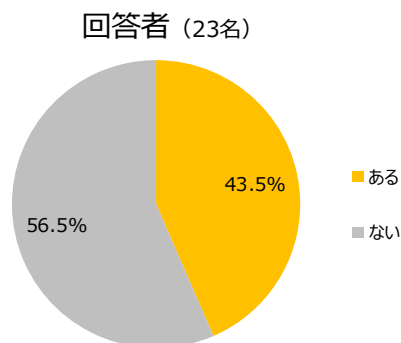
Q. 今日の研修は役に立ちましたか？（5段階評価＋自由記述）



<回答した理由>

- ① とても役に立った
 - セルフチェックで自分の強みを知ることができ、今後、就活などに活かそうだと思ったから。
- ② 役に立った
 - 自分の将来について頭の中がゴチャゴチャになってきてしまっていたので、自分の頭の中を整理する良い機会になったから。

Q. 研修を受けて、具体的に「やってみよう」と思った取り組みはありますか？（5段階評価＋自由記述）



<「ある」と回答した理由>

- 実際に就職した先輩や就職先が決まっている先輩に話を聞く。
- 他のチームの方や、プロチームの方との交流をしていきたいと思います。
- 本を読んで情報収集をする。

Q. 今後、キャリアについてもっと知りたいと思うことはなんですか？（自由記述）

- 就活、インターンなどについて詳しく。
- マネージャー経験を社会で生かす方法。
- 資格取得について。

Q. キャリアに関して、チーム等に「やってほしい」と思うサポートはありますか？（自由記述）

- 就職活動のための時間確保。
- 実際にスポーツ企業などに就職された方による、具体的な大学時代からの就職の流れ。
- キャリアアップの研修会。

Q. 本日の研修で印象に残った研修項目や感想を自由にご記入ください（自由記述）

- 自分の将来についてもう一度考え直すいい機会になった。せっかく部活をやっているからこそ、できることについて考えていけたら良いと思った。
- ロードマップでは、自分のこれからの学生生活でどのように過ごしていくかをたくさん書き出して、目標を明確にすることができた。

コットンウェイ硬式野球倶楽部（野球）

実施日程	再委託先・エイジェックススポーツマネジメントと連携し実施決定。 社会人・学生混合のクラブチームのため、集まれる日程で実施。 2025年12月21日（日）10:00～12:00
参加者数	22名（選手:13名／指導者・関係者:9名）
メイン講師	川島 隆一 氏
サブ講師 （ワークサポート）	提箸 宏 氏

➤ 研修概要

団体の実施目的

社会人と学生が同チームに所属し、仕事や学業と競技活動を両立しながら日々野球に取り組んでいる。こうした環境の中で、競技と仕事・学業を切り離して考えるのではなく、それぞれの経験を相互に活かしていくデュアルキャリアの考え方を理解してもらうことを目的として実施した。

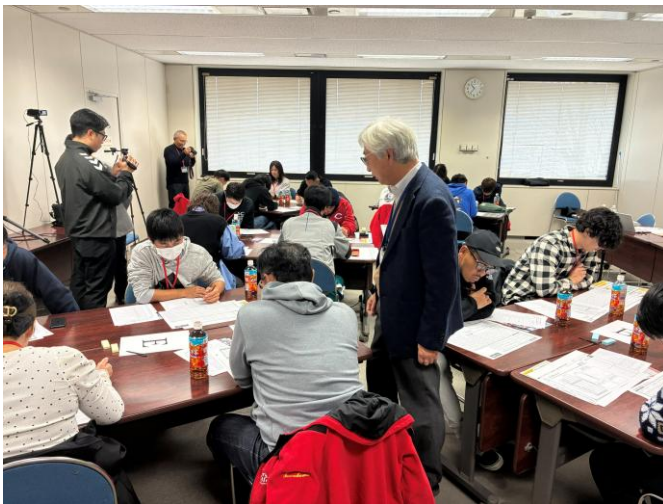
選手自身が競技と仕事・学業の両立について主体的に考えるきっかけを作ること、競技で培った強みを将来のキャリア形成にも活かしていくための意識の向上を図る。

実施内容

① 講師による講義	「野球と仕事・学業の二刀流をより充実させるために」というテーマで、デュアルキャリアをキーワードとした研修を実施。競技とキャリアを別物としない考え方や、競技を通して社会人基礎力が身につけていることを伝え、気づきを多く得てもらえるような研修時間とした。
② 自己理解ワーク	「社会人基礎力チェックシート」を用い、自身の強みや課題を可視化する機会を提供。これにより、「チームで目標を達成する力」や「困難に向き合う忍耐力」など、日頃の練習や試合を通じて無意識に培ってきた能力を、社会で求められる力として認識するきっかけとなった。 また、引退後の将来の職業について、様々な職業例にも触れてもらった。
③ ロードマップ作成	選手一人ひとりが「ロードマップ」を作成するワークを実施。競技・競技以外の両面で目標を立て、そこへ向けて今から1年後、2年後、選手たち自身が今後、選手として、人としてどう行動していくかを整理する時間となった。

II. 委託業務に係る成果報告

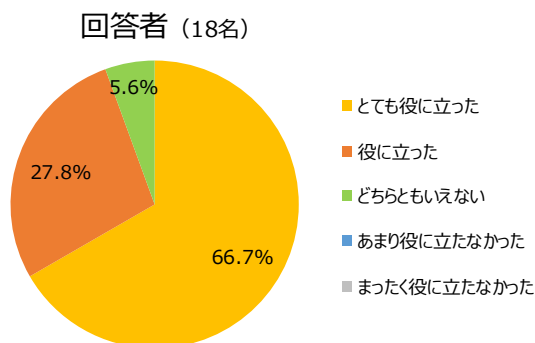
研修の様子



II. 委託業務に係る成果報告

➤ アンケート結果

Q. 今日の研修は役に立ちましたか？（5段階評価＋自由記述）

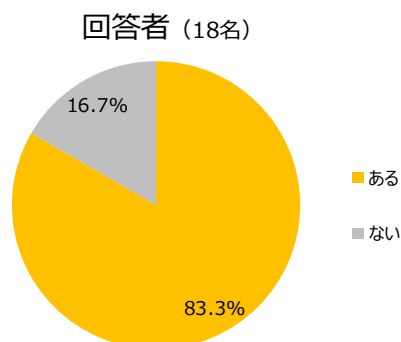


<回答した理由>

- ① とても役に立った
 - 高校生の自分としては、今までに考えたこともない視点から今行っている野球のことや学業のことを考える機会になったから。
- ② 役に立った
 - セルフチェックで自分の強みが知れたから。
- ③ どちらともいえない
 - いつもその場で完全に理解することは難しい性格なので、講義の内容を覚えておくことが大切だと思います。講習などを受けたその場で特に響くことはありませんでしたが、内容は覚えているので後々今日学んだ事が生きてくるかもしれません。

Q. 研修を受けて、具体的に「やってみよう」と思った取り組みはありますか？

（5段階評価＋自由記述）



<「ある」と回答した理由>

- ロードマップの毎年更新。
- コットンウェイの自分よりも年齢が上の人も関わりを持ち、人脈を広げていきたい。
- 読書の習慣を身に付けようと思いました。
- 異業種の方と交流をもち情報を多くとっていききたい。

Q. 今後、キャリアについてもっと知りたいと思うことはなんですか？（自由記述）

- 競技と仕事の相乗効果を生み出している他者事例。
- 順調に進んでいくための情報収集方法。

Q. キャリアに関して、チーム等に「やってほしい」と思うサポートはありますか？（自由記述）

- デュアルキャリアの実践による相乗効果の効率の良い発揮の仕方。
- 相手のことや意見を理解し合うための対話。

Q. 本日の研修で印象に残った研修項目や感想を自由にご記入ください（自由記述）

- 自身を見つめ直す機会となりました。グループワークで意見交換でき、モチベーションがアップしました。

全日本アーチェリー連盟（アーチェリー）

実施日程	日本オリンピック委員会からのご紹介。 トップナショナルチームの合宿にて、男女の日程が重なる日程で実施。 2026年1月14日（水）16:00～17:30
参加者数	21名（男性:12名／女性:9名）
メイン講師	川島 隆一 氏
サブ講師 （ワークサポート）	中川 香織 氏 久野 孝男 氏

➤ 研修概要

団体の実施目的

トップレベルの選手が競技力向上に向けて集中的にトレーニングに取り組む貴重な機会において、アスリートとしての成長を支える要素の一つとしてキャリアについて考える機会を設ける。

競技活動と将来のキャリアを別物として考えるのではなく、競技に真摯に向き合う過程で培われた経験や能力が、将来のキャリア形成にも繋がっているという理解を深めるとともに、将来を見据えた視点を持つことが、結果として競技活動への主体的な取り組みや競技力の向上にも繋がるという意識をもってもらえるきっかけの場とする。

実施内容

① 講師による講義	キャリアと向き合い自己理解を深めることが人としての成長に繋がり、その成長が競技への向き合い方を豊かにするという事、また、競技を通して得た経験や学びが将来のキャリアをより良いものにしていくことを伝え、デュアルキャリアについてより理解を深める時間とした。
② 自己理解ワーク	「社会人基礎力チェックシート」を用い、自身の強みや課題を可視化する機会を提供。これにより、「チームで目標を達成する力」や「困難に向き合う忍耐力」など、日頃の練習や試合を通じて無意識に培ってきた能力を、社会で求められる力として認識するきっかけとなった。 また、引退後の将来の職業について、様々な職業例にも触れてもらった。
③ ロードマップ作成	「実現したい自分の理想の姿」を考えるグループワークを実施。選手一人ひとりが競技者としてだけでなく、一人の人間としてのビジョンを考え目標を定めた上で、その目標の実現に向け、今後どのような行動を起こしていくかを明確にし、皆で共有し合う時間となった。

II. 委託業務に係る成果報告

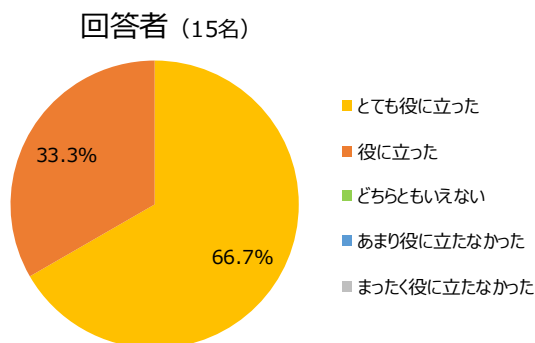
研修の様子



II. 委託業務に係る成果報告

➤ アンケート結果

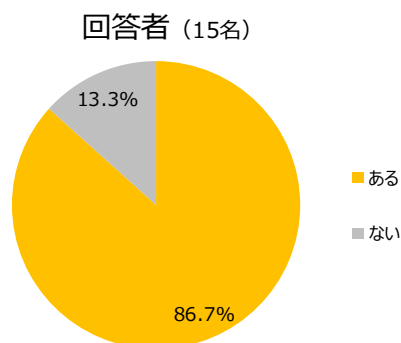
Q. 今日の研修は役に立ちましたか？（5段階評価＋自由記述）



<回答した理由>

- ① とても役に立った
 - セルフチェックで自分が無意識に考えていることを言語化、レベル分けして捉えることができたから。
- ② 役に立った
 - 自分の強み弱みを知る機会がそう無く、今回はワークシートも用意していただき、考える時間もあつたため、整理できた。こういった将来のことを考えることが本当に大事だと最近思っていたので、良い機会になった。

Q. 研修を受けて、具体的に「やってみよう」と思った取り組みはありますか？（5段階評価＋自由記述）



<「ある」と回答した理由>

- 現状でセカンドキャリアのために活動をしているので、今後もブラッシュアップしながら続けていきたい。
- 他のキャリアの選択肢を増やすための情報収集
- 社内にはなるが、固定の人ではなく、さまざまな人と話そうと思った。入社機会が多くないため、自ら入社機会を設け、社員の方々と交流するという名目でも良いので、人と話すことが大事だと思った。

Q. 今後、キャリアについてもっと知りたいと思うことはなんですか？（自由記述）

- スポーツ指導に関わる資格についての情報を知りたい。
- 競技を引退した時にどうやって新しいことを始めるかなど。
- 競技生活中的仕事の向き合い方について。

Q. キャリアに関して、チーム等に「やってほしい」と思うサポートはありますか？（自由記述）

- 現役大学生が他競技であってもデュアルキャリアの選手に現状を聞かせて貰える機会があればとても貴重な時間になると思います。
- 定期的な全体研修と個別対応。

Q. 本日の研修で印象に残った研修項目や感想を自由にご記入ください（自由記述）

- セルフチェックができたのがありがたかった。改めて考えると、そこまで深く自分の将来や今について言語化することができなかつたので、ぼんやり考えるのではなく、これを機会に鮮明に決めていこうと思った。

株式会社 MPandC (競技混同)

実施日程	キックオフミーティングの翌日に実施。 2026年1月16日(金) 10:00~12:00
参加者数	株式会社 MPandC の社員を対象に実施。 8名(男性:3名/女性:5名)
メイン講師	川島 隆一 氏
サブ講師 (ワークサポート)	隠岐 麻里奈 氏 山本 恭子 氏

▶ 研修概要

団体の実施目的

競技活動と仕事を両立しながら競技を続ける選手に対し、競技以外の経験や学びがアスリートとしての成長や競技力の向上にも繋がるという理念を持った上で、自身の置かれている環境や働き方を改めて見つめ直し、キャリアについて主体的に考える機会を提供することを目的として実施した。

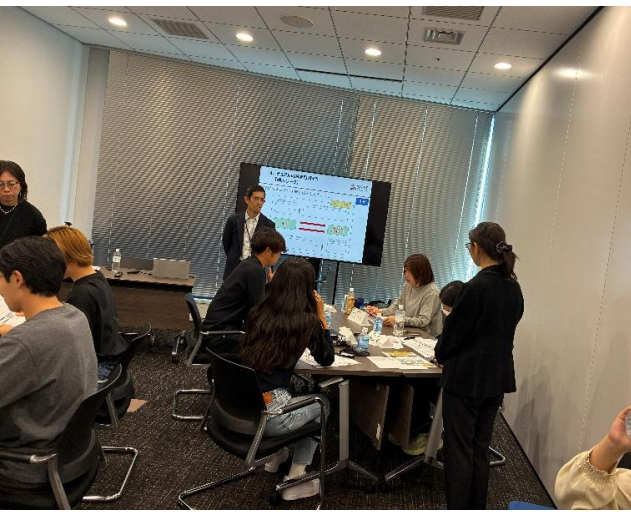
柔軟に働ける職場環境のもとで競技活動が続けられていることの価値を再認識するとともに、競技以外の経験や学びが自身の成長や競技力向上にもつながるという考え方を、研修を通して伝えることで、選手が自らの環境を前向きに捉えながら競技とキャリアの双方に取り組んでいくきっかけとする。

実施内容

① 講師による講義	「デュアルキャリア」をテーマとし、キャリアについて考えることは競技力を高めるだけでなく、人としての人生も豊かにしていくものであるということを伝え、競技で培った力を仕事で活かし、仕事で得た経験を競技に活用していく相乗効果を意識してもらう講義を行った。
② 自己理解ワーク	「社会人基礎力チェックシート」を用い、自身の強みや課題を可視化する機会を提供。これにより、「チームで目標を達成する力」や「困難に向き合う忍耐力」など、日頃の練習や試合を通じて無意識に培ってきた能力を、社会で求められる力として認識するきっかけとなった。 また、引退後の将来の職業について、様々な職業例にも触れてもらった。
③ ロードマップ作成	選手一人ひとりが「ロードマップ」を作成するワークを実施。競技・競技以外の両面で目標を立て、そこへ向けて今から1年後、2年後、選手たち自身が今後、選手として、人としてどう行動していくかを整理する時間となった。

II. 委託業務に係る成果報告

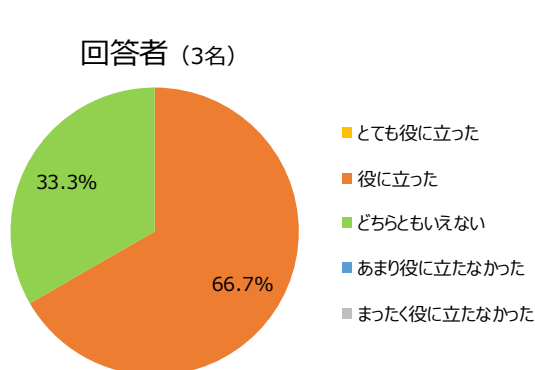
研修の様子



II. 委託業務に係る成果報告

➤ アンケート結果

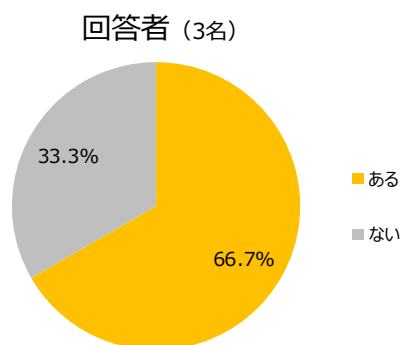
Q. 今日の研修は役に立ちましたか？（5段階評価＋自由記述）



<回答した理由>

- ① 役に立った
 - 自分の強み、弱みを競技と競技外に分けて考えることで互いに活かせることを知ることができた。
 - 他競技の方の考え、強みを知れたから。
- ② どちらともいえない
 - 引退を考えて競技を進めていないため、その後を具体的に考えられなかったです。

Q. 研修を受けて、具体的に「やってみよう」と思った取り組みはありますか？（5段階評価＋自由記述）



<「ある」と回答した理由>

- 競技での強みを仕事に活かす。
- 人との関わりを増やすこと、他競技、他分野のキャリアをもっと知りたい。

Q. 今後、キャリアについてもっと知りたいと思うことはなんですか？（自由記述）

- デュアルキャリア経験者のスポーツ分野以外での活躍事例。

Q. キャリアに関して、チーム等に「やってほしい」と思うサポートはありますか？（自由記述）

- 上司や同僚がいる前だと、この会社を辞めた未来を話しにくく、個別で直接お話しできるお時間があつたら嬉しいと思いました。
- 就職斡旋。

Q. 本日の研修で印象に残った研修項目や感想を自由にご記入ください（自由記述）

- 同じ立場のアスリート社員との意見交換をすることで仲間がいることを感じる事ができた。
- あまり考えたことなかったので、貴重なお時間でした。

パナソニックコネクト株式会社（陸上）

実施日程	前年度に引き続き、研修開催のご要望をいただき実施。 2026年1月16日（金）10:00～12:00
参加者数	パナソニックコネクト女子陸上部を対象に実施。 8名
メイン講師	小川 聡志 氏
サブ講師 (ワークサポート)	君野 和美 氏 串田 友恵 氏

➤ 研修概要

団体の実施目的

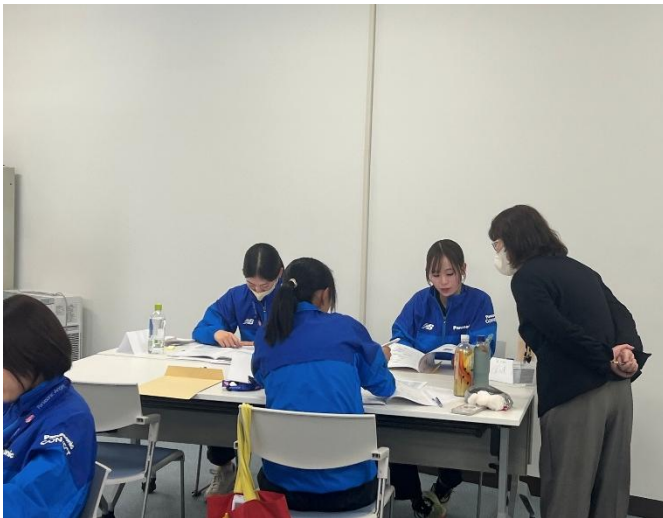
前年度に引き続き、アスリート社員を対象としたデュアルキャリア研修を実施し、単発の取り組みではなく、継続したプログラムとして実施することで、1年前からどのような成長ができたかについて振り返るとともに、アスリートが現役のうちから将来について考える機会を設ける。

実施内容

① 講師による講義	「デュアルキャリア」をテーマとし、キャリアについて考えることは競技力を高めるだけでなく、人としての人生も豊かにしていくものであるということをお伝え、競技で培った力を仕事で活かし、仕事で得た経験を競技に活用していく相乗効果を意識してもらう講義を行った。
② 自己理解ワーク	「社会人基礎力チェックシート」を用い、自身の強みや課題を可視化する機会を提供。これにより、「チームで目標を達成する力」や「困難に向き合う忍耐力」など、日頃の練習や試合を通じて無意識に培ってきた能力を、社会で求められる力として認識するきっかけとなった。 また、引退後の将来の職業について、様々な職業例にも触れてもらった。
③ ロードマップ作成	選手一人ひとりが「ロードマップ」を作成するワークを実施。競技・競技以外の両面で目標を立て、そこへ向けて今から1年後、2年後、選手たち自身が今後、選手として、人としてどう行動していくかを整理する時間となった。

II. 委託業務に係る成果報告

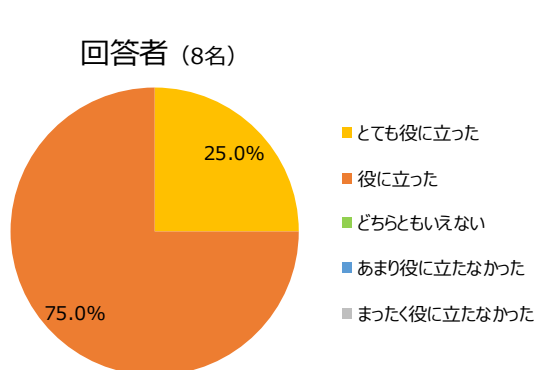
研修の様子



II. 委託業務に係る成果報告

➤ アンケート結果

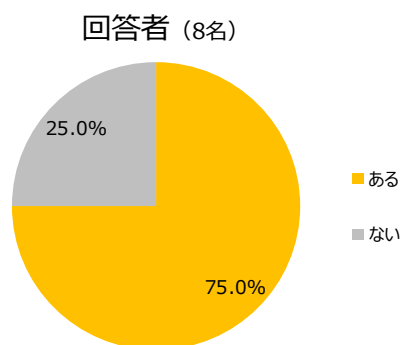
Q. 今日の研修は役に立ちましたか？（5段階評価+自由記述）



<回答した理由>

- ① とても役に立った
 - 自己分析をする機会がなかなかないので良かったです。
- ② 役に立った
 - 自分が感じていた強みと苦手と思っていた部分の違いがあったりして気づけなかったことにも気づくことができたから。

Q. 研修を受けて、具体的に「やってみよう」と思った取り組みはありますか？（5段階評価+自由記述）



<「ある」と回答した理由>

- PROG 検査で数値が低かった力を上げていけるよう考えて行動する。
- 苦手としていた項目(数値の低かったもの)を少しずつでも改善できるよう取り組みたいと思う。
- 2年連続で統率力が1だったので、話し合いに参加したり自分の意見を出したりして、数値をもう少し伸ばしたいと思います。

Q. 今後、キャリアについてもっと知りたいと思うことはなんですか？（自由記述）

- デュアルキャリアの実例。
- 引退後会社に残らず、就職やその他の道に進んだ方が現役中にしていたことを知りたい。

Q. キャリアに関して、チーム等に「やってほしい」と思うサポートはありますか？（自由記述）

- 現在の取り組みを続けて欲しい。

Q. 本日の研修で印象に残った研修項目や感想を自由にご記入ください（自由記述）

- これまでも、アスリートの力は社会で活かせるという言葉をいただく機会がありましたが、自分にはそんな力はないと思い、漠然とセカンドキャリアに対する不安がありました。ですが昨年引き続き研修を受けさせていただき、PROG 検査で自分の能力の変化や強み、弱みを把握できたことで、競技でなくてもなにか貢献できることがあるかもしれないと前向きに考えることができました。空欄ばかりのロードマップを埋めて、将来を実現できるよう考え続けたいと思います。